

分会長に対する長期日勤は許さない！

会社は、分会長に対して業務でミスをしたわけでもないのに、決められたことをやっていなかったとして乗務を下ろし、長期の日勤教育を開始しました。

この事態は、隠れて乗務員の業務をチェックするという卑劣なやり方で摘発された。会社の思うようなことがやられていなければ、その場で注意すればすむことである。不安全行動を見逃し、注意せず何かあったらではすまないのである。JR東海会社の安全に対する考え方は世間には通用しない。

そもそも日勤に下ろし、反省をしているにもかかわらず追い打ちをかけて何が生まれるのだろうか。乗務員のプライドをズタズタにして、何がうれしいのか！

明るい職場づくりが安全をつくる！

このような日勤教育が、西日本では大事故に繋がったのである。事故から教訓を学ばなければならない。乗務員だけに犠牲を押しつけ、基本動作をやれば事故がおきないなどという**非科学的な精神論**はいらないのである。

多くの学者が安全を構築するためには、**風通しのよい職場づくり・乗務員がノビノビできることがとても重要だ**と言っている。しかし、JR東海は全く正反対なことが日常やられているのである。日勤教育は直ちに廃止し、乗務員がノビノビできる職場風土をつくらなければいけないのである。

私たちJR東海労は、不当な日勤再教育は許さず、安全を守るために闘います。名古屋運輸区のみなさん！共に頑張りましょう！